

Photoshop + Canonプリンタでプリント(プラグインソフトを使用しない場合)

2021年4月27日更新

使用OS	プリンタ	表示ソフトウェア
macOS Catalina (10.15.7)	Canon PIXUS PRO-10S	Adobe Photoshop

<操作手順のポイント>

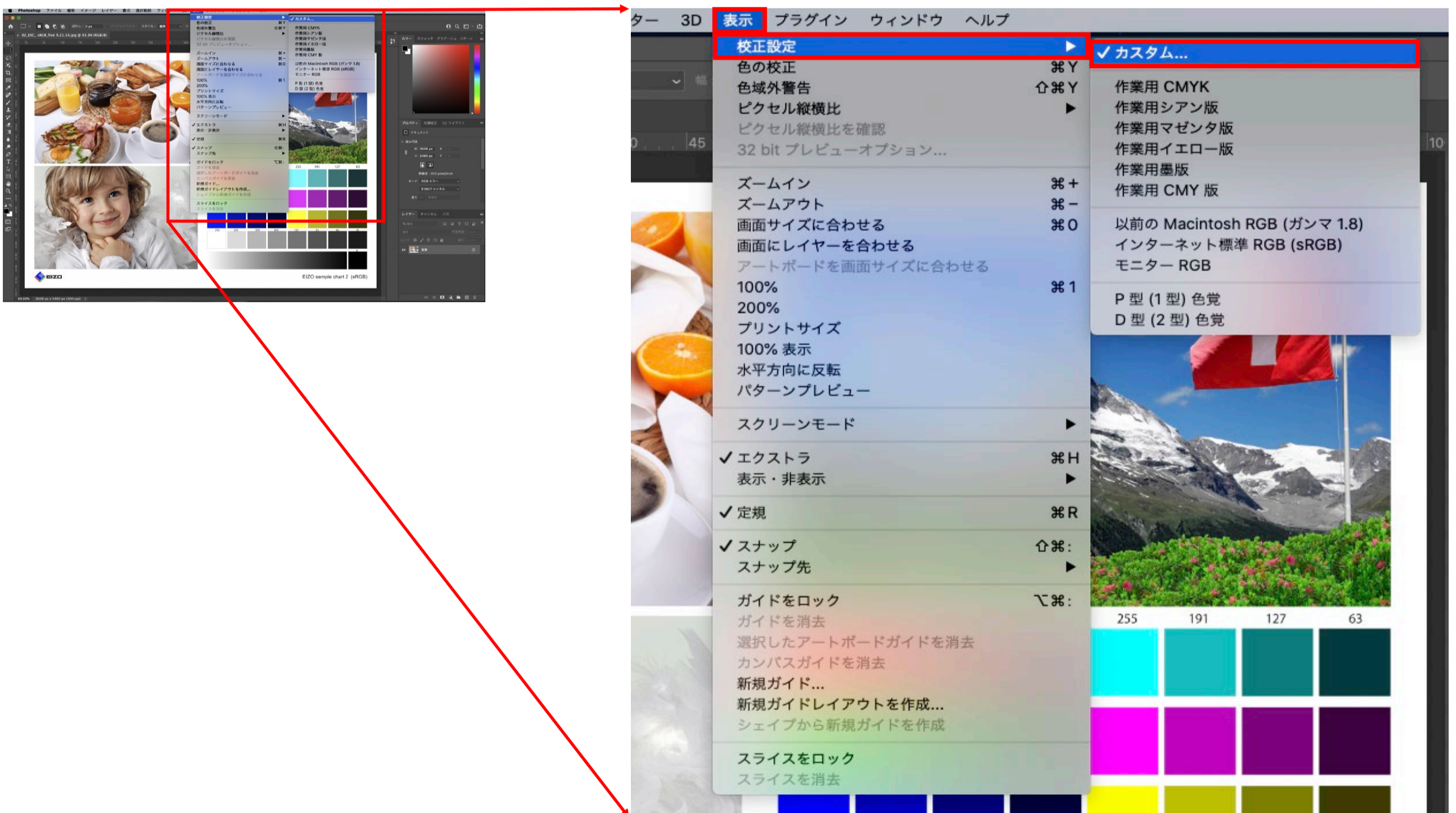
- ① 写真をプリントする前に、「■Adobe Photoshop上でプリントの色合いを確認する(校正設定)」を実施してプリントの色合いを確認します。
- ② モニター上の写真プリントの色合いを見ながら現像・レタッチをした後、「■プリント設定を行いプリントする」を実施してプリントしてください。

※使用する写真用紙の種類を変えたときは、①②ともに設定しなおしてください。

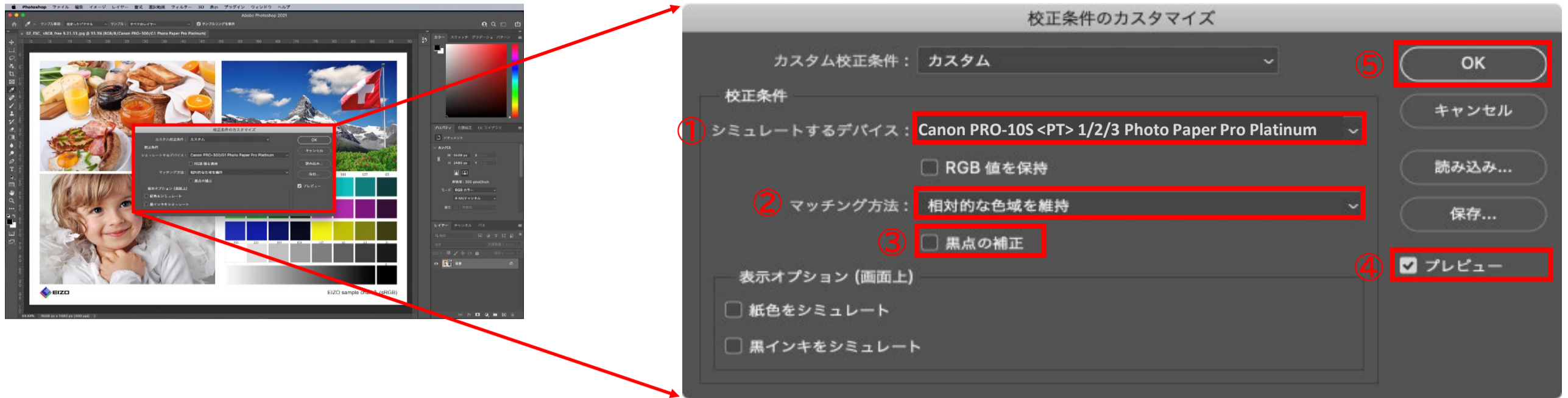
■ Adobe Photoshop上でプリントの色合いを確認する

Adobe Photoshopには、プリントする前にプリントの色合いをモニター上で確認できる機能があります。Adobe Camera Rawでの現像やAdobe Photoshopでのレタッチ等補正のあとは、正確に色の確認を行ったうえで、プリントすることをお勧めしています。手順は以下の通りです。

1. Adobe Photoshop上部の「表示」のプルダウンメニューで「校正設定」にマウスカーソルを持っていき、右に展開したメニューから「カスタム」を選択してください。



2.「校正条件のカスタマイズ」が表示されたら、シミュレートするデバイスに使用する用紙の「プリンタプロファイル」を設定し、マッチング方法は「相対的な色域を維持」、黒点の補正は「マークをつけない」、プレビューに「マークをつける」を設定したうえで、「OK」をクリックしてください。



① シミュレートするデバイス

シミュレートするデバイスにプリンタプロファイルを設定すると、使用するプリンタ・用紙の発色を考慮した色を事前にPhotoshop上で表示できます。プリンタプロファイルとは、プリンタ機種と用紙種の組み合わせによる色特性を記述したデータです。入手方法は、プリンタ付属CD、プリンタメーカーや用紙メーカー各社のホームページからダウンロードしてお使いください。

② マッチング方法

「相対的な色域を維持」は、プリンタの色再現域を超えた色があった場合、再現できるもっとも近い色に変換し、再現域の中におさまっている色はそのままプリントする方法で、こちらをお勧めします。一方、「知覚的」は、全体を圧縮してプリンタの色再現域におさめる方法で、階調のつながりを意識した仕上がりととなります。

③ 黒点の補正

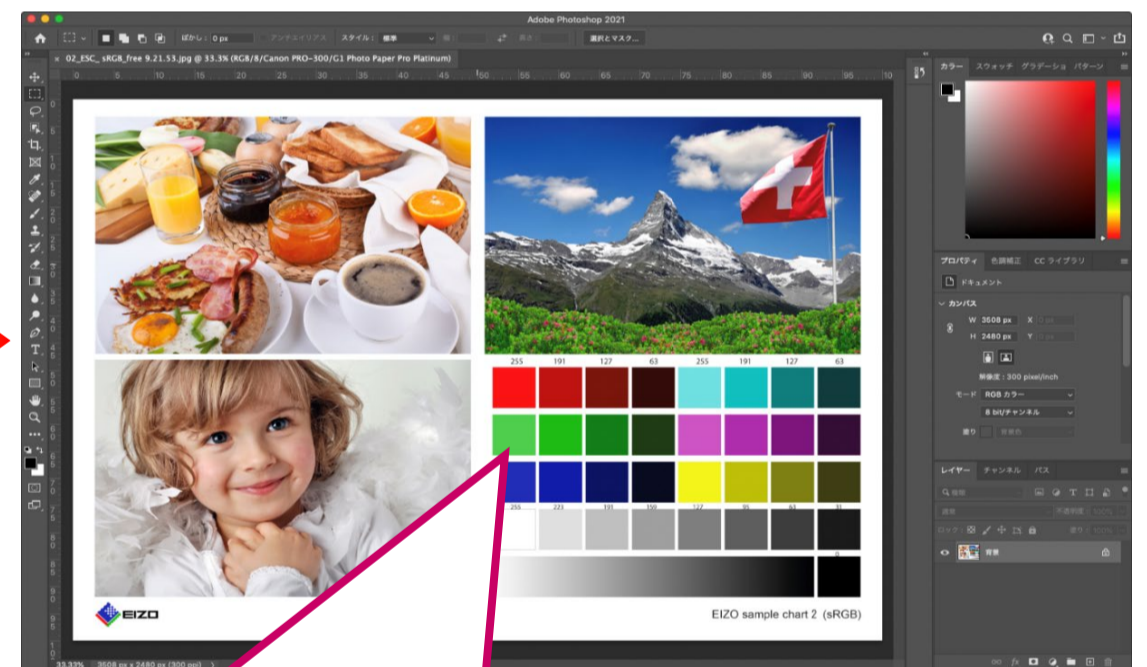
モニターで見ていたRGB値をプリントのCMYK値に変換する際に、黒点の差の絶対値を補正します。Canon社が提供するプリンタプロファイルには黒点補正情報が既に埋め込まれているため、チェックは不要です。

3.この状態で画像データの最終色確認を行ってください。

【校正条件設定前】



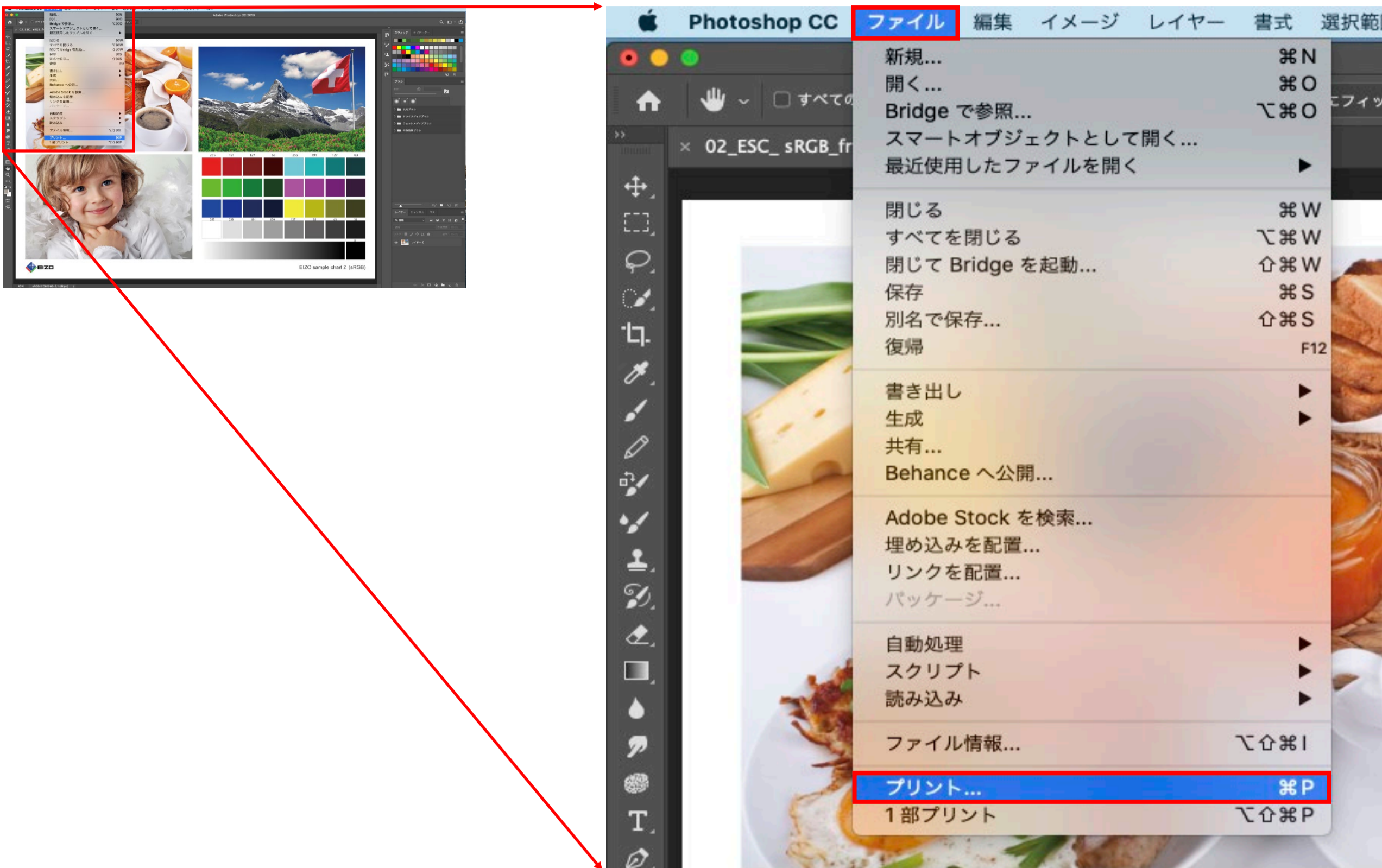
【校正条件設定後】



お使いになるプリンタと用紙の再現色域を超えた色は変化して表示されます。

■ プリント設定を行いプリントする

1. Adobe Photoshop左上の「ファイル」のプルダウンメニューから「プリント...」を選択してください。



2. まず「カラーマネジメント」の設定を行います。

カラー処理は「Photoshopによるカラー処理」、プリンタプロファイルは使用する用紙の「プリンタプロファイル」、マッチング方法は「相対的な色域を維持」、黒点の補正は「マークをつけない」が写真プリントにお勧めの設定になります。以上を設定して、「プリント設定」をクリックしてください。



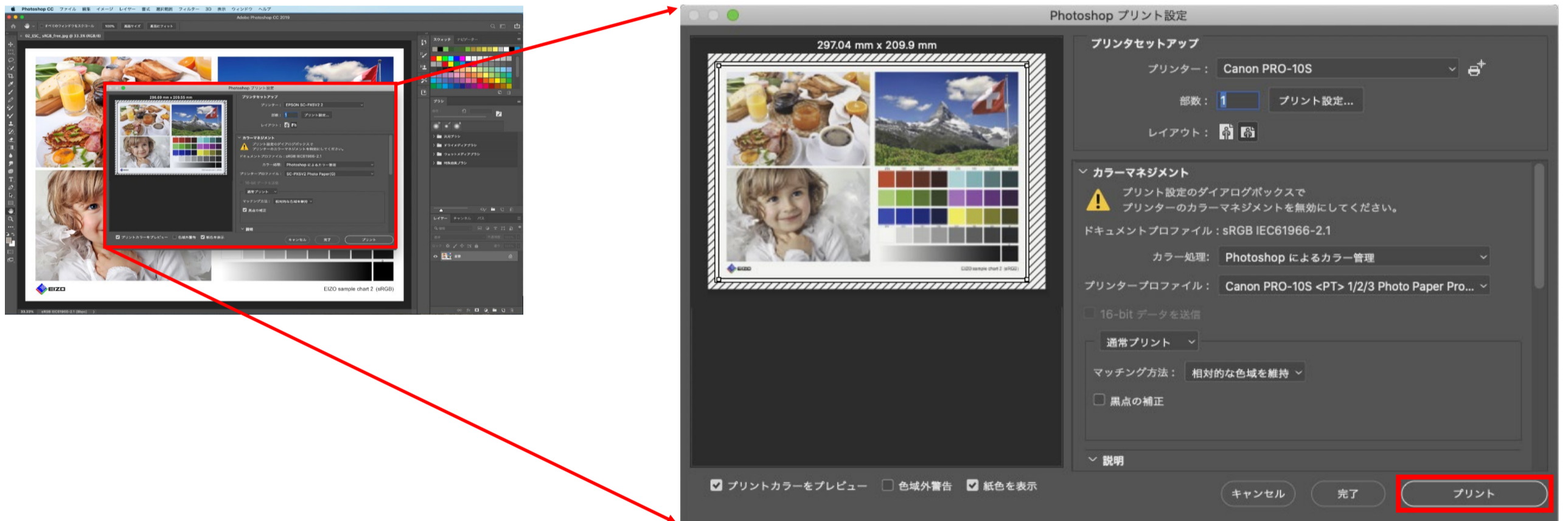
3. プリント画面で「プリンタ」を確認し、次に「詳細を表示」をクリックしてください。



4. 「部数」「用紙サイズ」を決め、次に「品位と用紙の種類」タブを選択し、「用紙の種類」に今から使用する用紙を選択し、「保存」をクリックしてください。



5. 「プリント」をクリックして印刷を開始してください。



6.モニター表示との比較、プリントの出来上がりを正しく確認するには、色温度が5000K、平均演色評価数(Ra)が90以上の照明をご使用ください。

